

Excelの基本(Word&Excel2010 参照)

Chapter8 数式と関数のテクニック

Ⅱ. 関数を活用する(P128~P136)

1. 関数とは(関数の基本)(P128)

テキスト参照

「実習」

①WordExcel2010 のフォルダーを開く、C6_C10_excel フォルダ内の“P128 関数とは”のファイルを開く。

【説明】

・セル A1~A10 までの数値の加算値の求め方に2つの方法がある。

1)「算術演算子」: 四則演算の記号
を使用して計算する方法。

C3		: X ✓ fx		=A1+A2+A3+A4+A5+A6+A7+A8+A9+A10			
	A	B	C	D	E	F	G
1	10						
2	11						
3	12		145				
4	13						
5	14						
6	15		145				
7	16						
8	17						
9	18						
10	19						

2)「関数」(演算の自動機能)を使用
する方法。

C6		: X ✓ fx		=SUM(A1:A10)			
	A	B	C	D	E	F	G
1	10						
2	11						
3	12		145				
4	13						
5	14						
6	15		145				
7	16						
8	17						
9	18						
10	19						

②セルC6からC10までの加算を、演算子を使用する方
法で計算し、結果をセルC9に表示して見よう。

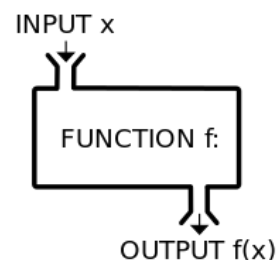
C9		: X ✓ fx		=A6+A7+A8+A9+A10	
	A	B	C	D	E
1	10				
2	11				
3	12		145		
4	13				
5	14				
6	15		145		
7	16				
8	17				
9	18		85		
10	19		85		

C10		: X ✓ fx		=SUM(A6:A10)	
	A	B	C	D	E
1	10				
2	11				
3	12		145		
4	13				
5	14				
6	15		145		
7	16				
8	17				
9	18		85		
10	19		85		

③セルC6からC10までの加算を、関数を使用する方
法で計算し、結果をセルC10に表示して見よう。

【説明】

関数とは:入力 x に対して、出力 $f(x)$ に変換させる機能
昔は「函数」が用いられていた。「関数」表記は 1985 年頃までに日本の初等教育の段階でほぼ定着したとのこと。
(「関数」が登場するのは中学校で 1958 年、高等学校で 1960 年)



引数とは:関数で演算を行う時に必要となるデータ。

例: =SUM(A1:A5) この時「SUM」は関数、()内の A1:A5はセルA1～A5の範囲を示す引数

2. 分類から関数を入力するには(関数ライブラリから入力)(P128) テキスト参照

「実習」

①WordExcel2010 のフォルダーを開く、C6_C10_excel フォルダー内の“P128 分類から関数を入力するには”のファイルを開く。

②売上リスト表から店舗「東京」のみの売上個数合計を求めてみる。

⇒この場合、「SUMIF」関数を使用する。

(表のあるセルを参照し、もし(IF)その内容が条件と一致したら、参照するセルの値を加算(SUM)する)

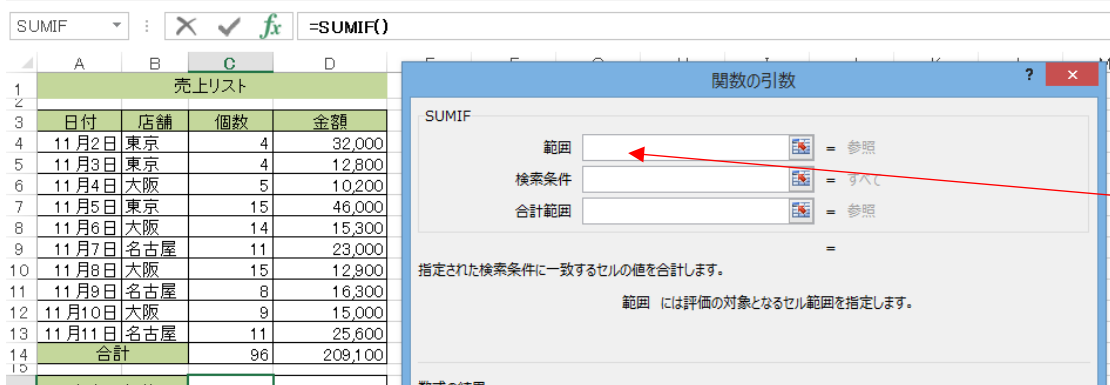
・テキストの手順を用いて操作する。

③結果を表示するセルを指定する。

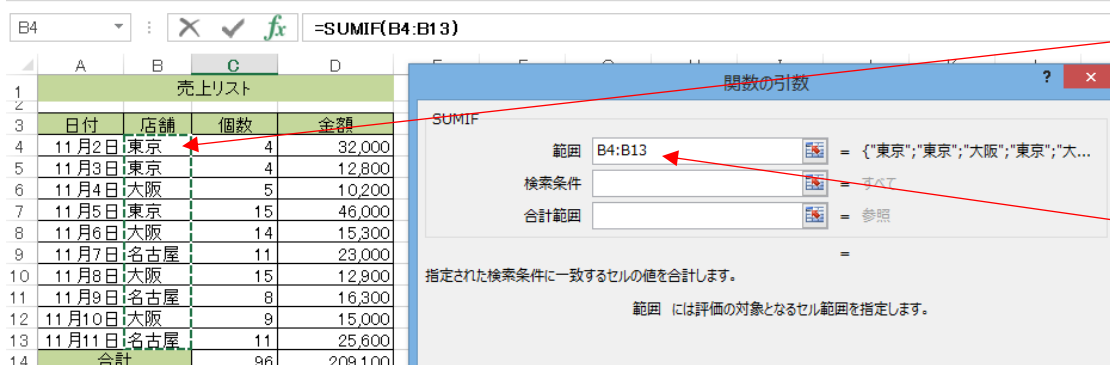
④「数式」タブを選択し、「関数ライブラリ」の項、「数学／三角」をクリックする。

⑤左図のウィンドウが開き、関数の一覧が表示されるので、そこから関数を選択する。
本例では「SUMIF」をクリックする。

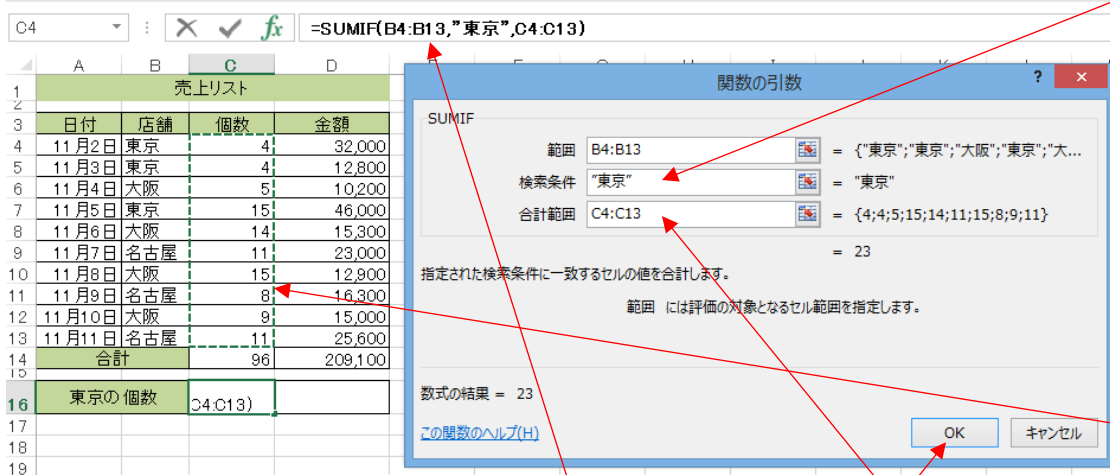
※この例ではあらかじめ必要な関数名がわかっていると仮定している。
(関数名が不明の場合についての検索方法は、後述する。)



⑥「SUMIF」を選択すると、左図のウィンドウが開くので、「範囲」の入力項目欄をクリックする。



⑦検索対象となる表のセル群をドラッグして選択する（本例ではセル B4～B13）範囲の項に B4:B13 と表示される。



⑧次に検索条件の欄に、「東京」と入力し、Enter する。（店舗の東京の売上個数を計算するため）

⑨「合計範囲」の入力項目欄をクリックする。個数を計算する元データがある範囲をドラッグする。

C16 : =SUMIF(B4:B13,"東京",C4:C13)

売上リスト				
日付	店舗	個数	金額	
11月2日	東京	4	32,000	
11月3日	東京	4	12,800	
11月4日	大阪	5	10,200	
11月5日	東京	15	46,000	
11月6日	大阪	14	15,300	
11月7日	名古屋	11	23,000	
11月8日	大阪	15	12,900	
11月9日	名古屋	8	16,300	
11月10日	大阪	9	15,000	
11月11日	名古屋	11	25,600	
合計		96	209,100	
東京の個数		23		

⑩「合計範囲」の項に C4:C13 と表示される。

⑪エクセル表上部のfxの項に =SUMIF(B4:B13,"東京",C4:C13) という計算式が表示される。

⑫「OK」をクリックすると 計算結果「23」が表示される。